

と き め ぐ り き たる 土岐・運・来

会報「土岐・運・来」第20号
発行 自然・馬・人の会
発行日 2002年11月10日(日)
只今の会員数 正会員 55家族
協力会員 29家族
賛助会員 1家族

晋平の絵の中の

人参の秘密・・・。

平塚市・大野晋平くんのおかあさん

会員になって今回が3回目の乗馬会です。会場入り口の赤い橋が見えたたん、晋平は会場まで走り出してしまいました。一刻も早く馬に乗りたいという感じで・・・。

馬に乗れば乗ったで、できるだけ長く乗っていたくて、降りることになっても鞍にじっとしがみついて、離れがたいという様子です。プログラム乗馬と体験乗馬の、2つの馬場を何度も往復して乗っています。一日中たくさん身体を動かしました。

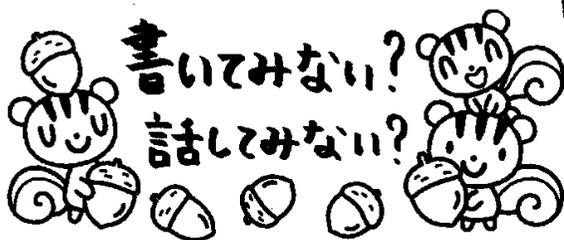
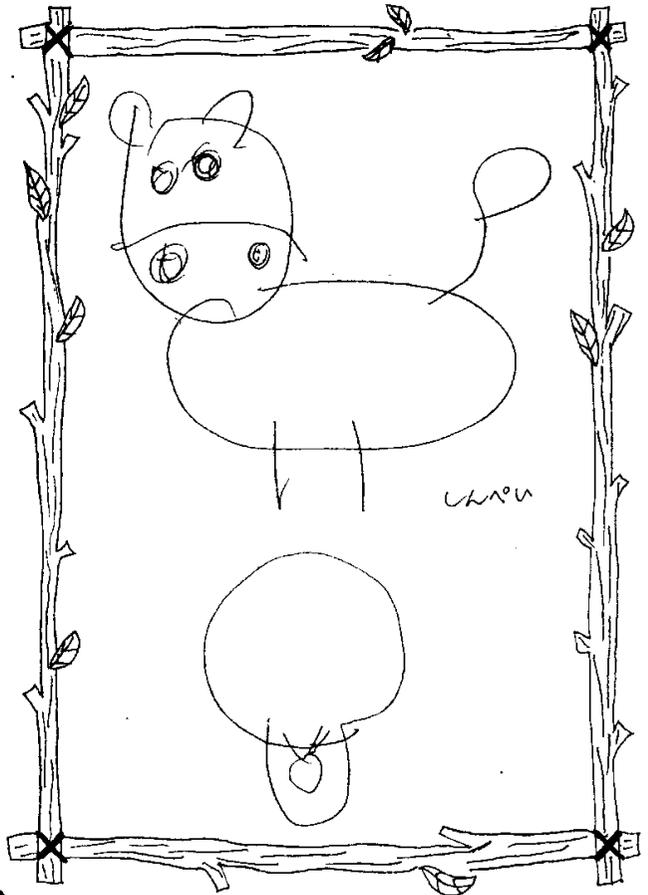
晋平はいつも自分で絵の道具を持ち歩いていて、この会場ではまず『お絵かきコーナー』のシートの上にごろんとなるんですが、最近馬の絵をよく描くんです。それもおもしろいことに、人参をつけて描くんですね。

というのも、実際には馬に人参をあげるのが、自分ではまだちょっと怖くてできないんですね。でもよその子があげているのを見て、あまりにお馬さんが人参をおいしそうに食べるもんだから、馬にあげるかわりに自分で人参を生で食べちゃう・・・。家でも最近やってしまうんですが(笑)。

(聞き取り・坂梨)

— 目 次 —

- ◇絵の中の人参の秘密・・・P.1
- ◇ぼろひろい・・・P.2
- ◇行きたい方に馬が動いた・・・P.2
- ◇受付嬢の一念発起・・・P.2
- ◇そんなこんなでもう秋か・・・P.3
- ◇『会員さんに聞きました』・P.3~4



ポロ拾いも思い切ってやってみたら意外とできちゃった。

～小5の彩芽、ボランティア初体験記～



小田原市穴部 塚本彩芽(小5)

今年の春からプログラム乗馬にさんかしています。馬に乗っていて、「馬の世話ってどんなことをしているんだろう」と、思い始めました。

そこで、10月に初めてボランティアを体験してみました。当日はみんなに配るお手紙の準備をしたり、馬のブラッシングや、爪のお掃除をしたり、装備の付け方を教わったり、馬をひく練習もさせてもらいました。

馬の爪のお掃除をするときは、けられるんじゃないかと怖くて、なかなか足を持ち上げることができませんでした。代わりにおじさんがやってくれたのですが、足をガンガンたたいていてちょっとかわいそうな気がしました。ポロ拾いは、最初は臭くて、「いやだなあ」と思いましたが、思い切ってやってみたら意外とできちゃいました。一度にちりとりが満杯になってしまうほどすごい量のうんちが出るので、とてもびっくりしました。

お昼までのボランティアでしたが、一人での参加だったし、ちゃんとできるか心配だったけど、教えてくれる人がやさしくて楽しかったので、またやりたいと思いました。

行きたい方に馬が動いてくれた時、すごうれしかった。

～ボランティアとして

木曾馬『ひまわり』と奮闘しました～



横浜市保土ヶ谷・福地舞(小5)

私が初めて、ボランティアとして参加したのは、昨年(2019年)の3月でした。私は、動物とか(?)が好きで、馬も大好きでした。初めてボランティアとして参加して、馬のことがよく分からなかったので大変でした。

この前の10月、サドルバックの人に教えてもらって、『ひまわり』に乗せてもらいました。たづなを使って馬を動かそうとしたら、なかなかうまく動いてくれなくて、思ったよりすごく大変でした。でも最後のほう、行きたい方向に馬がちゃんと動いてくれた時は、すごうれしかったです。

また、次回からもがんばりますので、よろしくお願いします。



受付嬢の一念発起・・・

小田原市栢山・運営委員 山崎朋子

私は、6月から乗馬させて貰っています。10月も走りました。あまりに走ってヘルメットが動き、前が見えなくなりました。(ヘルメットが大き過ぎたこともあり)慣れないことをすると、私は緊張してからだに力が入ってしまうので、ますます激しく振動するようになります。

いろいろアドバイスを受けると、ますます

緊張します。周りから見たら、きっとロボットのような動きになっているのではないかと思います。

でも馬を下りた後は、少し背が伸びたような、さわやかな気分になります。

運動音痴の私が、受付のお手伝いをしながら子どもたちの楽しげな顔を見続けているうち、一念発起しました。

頭でっかちがいつの日かどこかに飛び去り、やわらいだ笑顔のくる日を夢見ています。

(10/7)

そんなこんなで、もう秋か……。



小田原市・ボランティア 大塚藤功

梅雨期に初めて行き、もう9月という秋になるころだ。もうみんなから教えてもらった事をうまく実行していけるようにしなければならないと考えている。だが、前の日に馬の鞍は、どうやってつけたのかな。そういえばこうだと以前に行ったことを検索して、いざ当日に取り組もうとするとなかなかうまくはいかない。前の日にしたことは、少し役立っているとは思いますが、難しい。特に騎乗者や馬とのコミュニケーションは、その時その時におきていることなので、下手な自分にとってはどう考えても下手くそだと言い切れてしまう。そんなこんなで9月という季節まで過ぎてしまったけれども、少しずつだがコミュニケーションが取れるようになってきた。みなさんに教えてもらったことがとても自分の学びになっています。それに、楽しいことが何よりも励みになっています。これからもよろしくお願ひします。



《会員紹介コーナー》

ミルキーとハイジの

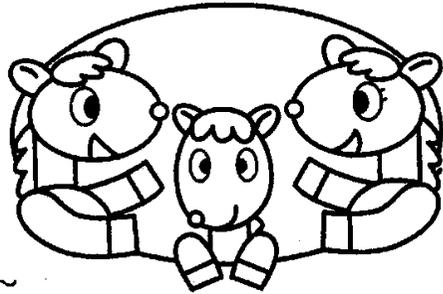
『会員さんに聞きました!』

愛子の夢がわたしにも道を

与えてくれた気がするんです。

～小田原市中町・小松真樹さん

愛子ちゃん・夢子ちゃん～



馬の扱いは大人顔負け。そんな愛子ちゃん(小6)に刺激されて、小中学生もボランティアを希望してきます。妹の夢子ちゃんとの2人を、女手ひとつで育てるお母さんの真樹さんが、これを話すともがたいい値じないという話から話していただきました。

とにかく愛子は2～8歳のころまで、いっさい動物に触れなかったんです。犬に会っても、「触らない」「近寄らない」って。——えっ!今はあんなに好きなのに。

それで初めて触ったのが、馬。ポニーでしただけど、富士サファリパークにいった、初めて触ることができて、一回乗せてみたら、自



分から『もう一度乗る』って……

そのあとからです。馬に対する異常な何かが芽生えて、幼稚園のころには、もうすっかり、将来の夢は競馬の騎手って……

——後は夢にずっと向かっていく。

1年生の頃からこの乗馬会に通い始めて、3年生のころには『そんなにやりたいなら』って高橋さんや梶井さんに言われて、お手伝いもするようになって……

——サドルバックにもひとりで毎週通うようになって……

そう、週末は馬。ただしそれまで家のことを徹底してやるんです。うちは7時半に子どもたちが出て、そのあと私が仕事に出るんですが、帰ってくると洗濯物はとりこんであって、お米もといであって。洗濯機もかかっています。夢子と2人でなんですけど。学校でお友達とさんざん遊んでても時間がくるとおばあちゃんちに預けてある夢子を迎えに行く。

そのあと洗濯物やって、お米といで……
うちは夜10時になるとみんな疲れきって寝ちやう……

——よくやるなあ……

うちは3人が3人とも、みんなでやらなきゃって自覚があるんですが、特に愛子の場合には週末の馬に向かっていく感覚なんですよ。私も会社が近いんで、最近バンバン残業しちゃってる。『おまえさんを競馬に入れるんで稼がなきゃ』なんて言ったりして……そうするとまた一生懸命に家のことをしたりして(笑)。

——競馬学校を自分で調べた？

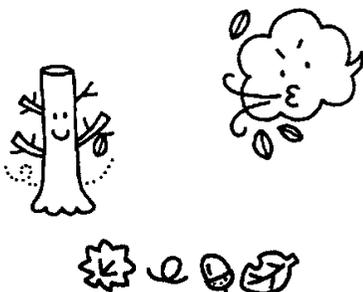
馬の雑誌に学校案内が出ていて、ある日それを見せて『ママ、ここに行きたいからよろしく！』って言うんです。わたしはそれには何としてもいれようって……。愛子は馬っていう道を持っているけれど、同時に私にも道を与えてくれたような気がするんです。

——責任感は強いみたいだね。

それはこの会の皆さんがあの子を信頼してくれて任せてくれたことで、本当に責任と自信を持てる人間になったと思うんです。私が大変な時に救ってくれたのは子どもたち。その子どもたちを成長させてくれたのは馬。馬って言う存在だなんだと思っています。

ですからあの子にもよく言うんです。愛子にとってのみんなへの一番の恩返しはね、あんたが立派な騎手なり調教師になって、テレビのインタビューなんか受けた日には、『私の師匠は、高橋さん、吉川さん、馬の会の人たち……』って堂々と言えるようになることだって。そうしたら『愛子、絶対やる』って……。私も親ばかながら期待しているんですが……(笑)。

(取材 坂梨 2002. 4. 7)



「自然・馬・人の会」 会長 梶井 広利
〒250-0045 小田原市城山1-3-22
TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332
E-mail na-nbp@wb3.so-net.ne.jp(中村)
ホームページ
<http://www2.famille.ne.jp/~luna/horse/>